



浜松市立富塚小学校 学校運営協議会



「コミュニティ・スクール推進モデル校」
～富塚小学校 学校運営協議会の4年間の足跡～

令和2年1月27日 会長 鈴木重博

目次



1. 地域、学校、PTAの特徴
2. コミュニティ・スクールの概要
3. 富塚小CS推進モデル校実施の足跡
4. CSの本格導入に向けて
5. 委員名簿(H28～R1)

1. 地域、学校、PTAの特徴



【地域の特徴】

- 基本データ（富塚町。2019.4.1現在）※学区とは一致しない
 - 《人口》15,686人、うち0～14歳は2,026人
(町人口全体の12%)
 - 《世帯数》6,805世帯
- 市中心部に近く地域全体が市街化区域(主に住居系の用途地域)でありながら、佐鳴湖など自然に恵まれた地域(風致地区)が併存する**多様性**に富んだ地勢
※急傾斜地、津波浸水域、液状化可能性等のエリアも内包
- 浜松医療センターはじめ診療所など**保健医療機関**が数多く立地し、静岡大学や浜松学院大学ほか複数の高等学校、城北図書館などの**教育機関・施設**が近接
- 県道48号(舘山寺街道)や複数のバス路線などが域内を通過する**交通の要衝**



1. 地域、学校、PTAの特徴



【学校の特徴】

- 基本データ（2019.4.1現在） ※H31第1回CS協資料より
《児童数等》

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
児童数(人)	69	81	94	89	83	88	514
学級数(学級)※	2	3	3	3	3	3	17

※児童数には発達級の人数を含む。学級数は上記に加え発達2学級

《教職員》30名(うち育休4)

《支援員等》学校支援コーディネーターなど19名

- 明治7年創立(今年は学校創立145周年)
- 富塚校区3校(富塚小、富塚中、富塚西小)は強い結びつき



1. 地域、学校、PTAの特徴



【PTAの特徴】

- 基本データ（2019.4.1現在） ※H31PTA総会資料より
《会員数(会費)》保護者415名(200円/月)、教員27名(160円/月)
《H31・R1予算》2,452,871円 ほか目的別の特別会計あり
《組織》本部(会長、副会長など15名)、専門部(保健体育部、広報部、教養部、健全育成部)
- 主な活動
「富小わっしょい!!」開催(毎年11月末頃)
子供の安全安心確保(横断旗貸与等、一斉補導参加、路面へのストップマーク表示、見守り隊など)
会員の教養・福祉向上等(講習会、輪読図書、広報誌など)
学校活動支援等(運動会等支援、卒業式等の花卉提供など)
※学校創立「5周年」毎の記念事業実施



2. コミュニティ・スクールの概要



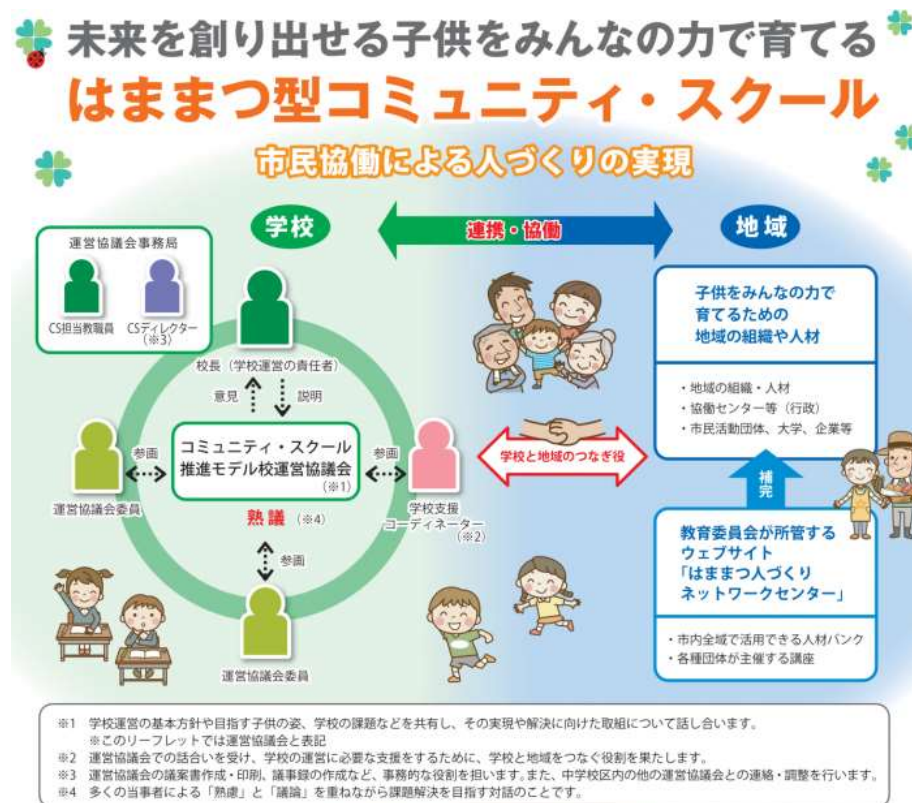
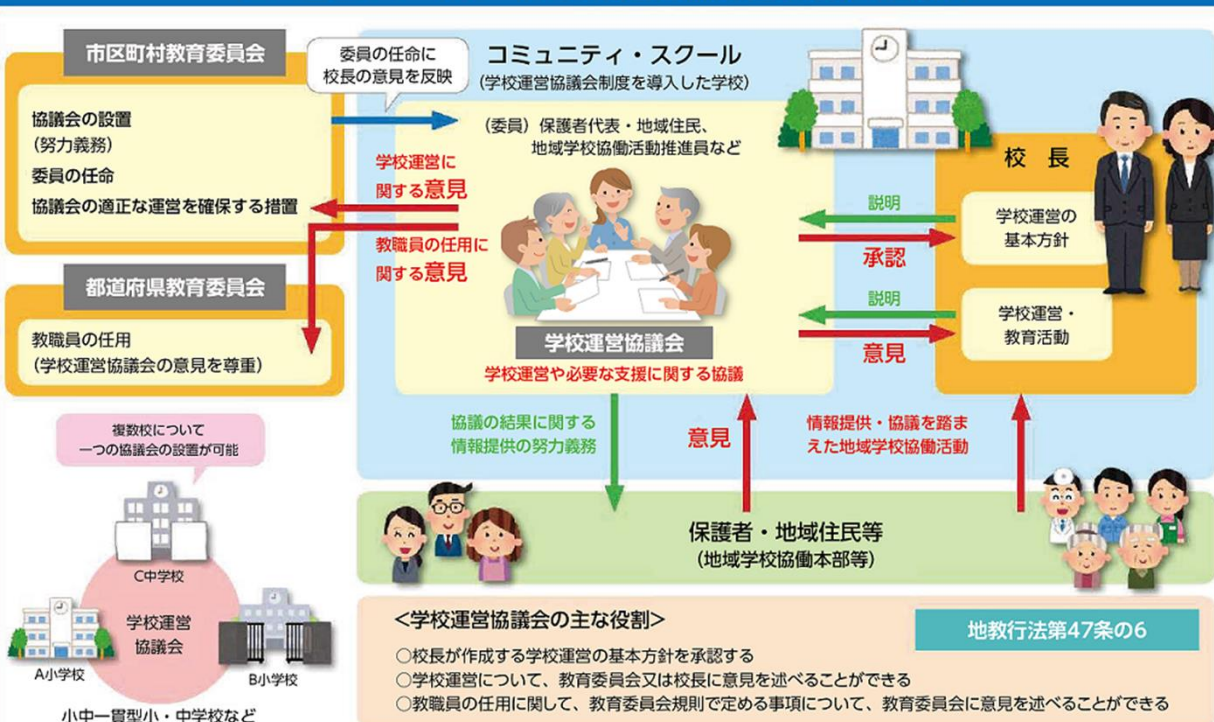
- コミュニティ・スクール(CS)とは…
「**学校運営協議会**を導入した**学校**」のこと（地教行法§47の6など）
※「学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子供たちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める法律に基づいた仕組み」(文部科学省)→全国の学校の21.3%が導入済(2019.5.1現在)
- 学校運営協議会(CS協議会)の**主な機能**
学校運営の基本方針(校長が作成)の承認、学校運営や教職員の任用等への意見陳述等
※keyword:「地域とともにある学校づくり」、「**熟議**」、「ビジョン共有」、「協働」、「辛口の応援団」
- 浜松市の取組
H28から**推進モデル校**を順次拡大(2019.4.1現在で24校)。**R2本格実施**(法適用)
→**富塚小**は富塚中、富塚西小とともに**H28**から推進モデル校として導入→R2本格導入
- 浜松市**モデル実施**の特徴「**はままつ型CS**」(≠法定のCS)※モデル実施期
→**学校支援コーディネーター**、はままつ人づくりネットワークセンターの設置と活用等

2. コミュニティ・スクールの概要



・参考:コミュニティ・スクール(CS)のイメージ図(国、浜松市)

コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)の仕組み



3. 富塚小CS推進モデル校実施の足跡



【富塚小CSの特徴】

① “**小中連携型**コミュニティ・スクール”

- ※H28スタート時に富塚3校が「富塚の子を9年間で育てる意識」(愛郷心醸成と将来の地域の担い手育成)を共有
→富塚3校合同CSの開催、連携事業の実施など



② 「**今ある**」こと・人を**原点**に、**関わりやすい**ことから**段階的に拡大**

- ※民生委員・児童委員で学校、地域の信頼が厚い方を学校支援コーディネーターに委嘱
- ※H28以前から実施の「校外学習支援」等に加え、地域、保護者にとって分かりやすく関わりやすい「クラブ活動支援」、「花壇整備」など、学校のニーズ等を議論し段階的に拡大
- ※参加者が徐々に拡大する中で、コミスクの認知度・理解度が高まるとともに、人のつながりが形成され、参加者の定着化と一層の拡大につながる

③ 「**学校支援等**」の枠に留まらず**地域**に広げた「**コミスク**」活動

- ※学校支援コーディネーターが中心となり、学校支援はもとより広く地域活動に積極参画(協働センターまつりや「富小わっしょい!!」での出店など)
- ※青少年健全育成会で学校、地域、PTAの活動をまとめた「コミスクカレンダー」作成 など

3. 富塚小CS推進モデル校実施の足跡



【富塚小CS協議会の概要】

- 保護者(PTA)、地域住民(自治会)、学校支援コーディネーター等13名で構成
- 年4回開催、うち3回は参観日に設定(参観会と連続して開催)
- 学校評議員会と合同開催
※学校評議員:校長の求めに応じ、学校運営に関し意見を述べる(学校教育法施行規則 § 49等)

【富塚小学校支援コーディネーターの概要】

- R1:6名(地域3、保護者2、OB1)の学校支援コーディネーターを配置
- 学校支援としてボランティア等の募集、調整等を中心に活動
- 学校支援に留まらず広く地域活動に積極参画 ※再掲

3. 富塚小CS推進モデル校実施の足跡



【CS協議会の開催実績】

年度	回数	主な議題等 (学校運営の基本方針関係以外)	主な意見等	備考
H28	3	- CSについて - 校区目指す子供像について	- ボランティアの思いと学校の思いの違いを調整する必要がある - 教員、ボランティアの意識をそれぞれ変えることが課題 - CSにより学校と保護者の距離が近くなった印象	
H29	3	- CSの方針、課題について - HPでの情報発信について - ボランティア登録について	- 学校HPの活用などコミスクとして情報発信を一層進めるべき - ボランティアの参加者拡大、低学年への浸透が課題 - 参観日以外の日も地域住民等が気軽に授業参観できないか※	※H30に参観日以外で「ぷらっと参観会」設定(意見反映)
H30	4	- クラブ活動計画等について - 学校評価について - 学校支援CDの活動報告等について	- ボランティアの登録促進と活性化をどのように図ればよいか - コミスクの情報発信を一層強化すべき - 地域人材に加え本校の卒業生も外部講師の候補としてはどうか	
H31 ・R1	4	- 通学時の安全安心確保について - 学校評価、全国学力調査結果について - モデル推進校の取組の評価等について	- オリパラ推進校として、ブラジル選手団の交流を深めるべき - 教育の中でSDGsの理解にもつながるよう工夫してはどうか	

* CS協議会と学校評議員会との関係：H28は合同開催、H29は別開催、H30以降は学校評議員会の機能を併せ持つ形で開催

3. 富塚小CS推進モデル校実施の足跡



【CS協議会の主な取組例①】

H30～R1 “子ども達の登下校時の安全安心確保”

《経緯等》

- 「登下校時の安全安心確保」に向けたこれまでの取組
[学校] 学校安全計画(通学含む)の策定等、旗振り・声掛け、指導など
[PTA] ストップマーク設置(374箇所)、横断旗等貸与、見守り隊など
[地域] 声掛け(青少年健全育成会(PTA含む)等のほか、各自(保護者含む)が任意・随時実施)
- 課題：
 - ① 「**関心の高さ**」と、ハザードマップ等の基本情報、各取組等への**理解不足**のギャップ
 - ② 「**守備範囲**」の**曖昧さ**と**不満**(「学校安全計画」、通学路指定、「3校PTA会長通知」等)
 - ③ 時代に合った**効果的**かつ**持続可能**な形での役割分担と事業再編



3. 富塚小CS推進モデル校実施の足跡



- H30には通学路の安全安心を脅かす**大事件、災害等**が次々に**発生**
→新潟女児殺傷事件(5月)、大阪府北部地震(6月)、台風24号と数日にわたる
停電(10月)など

《CS協議会での熟議と協働》

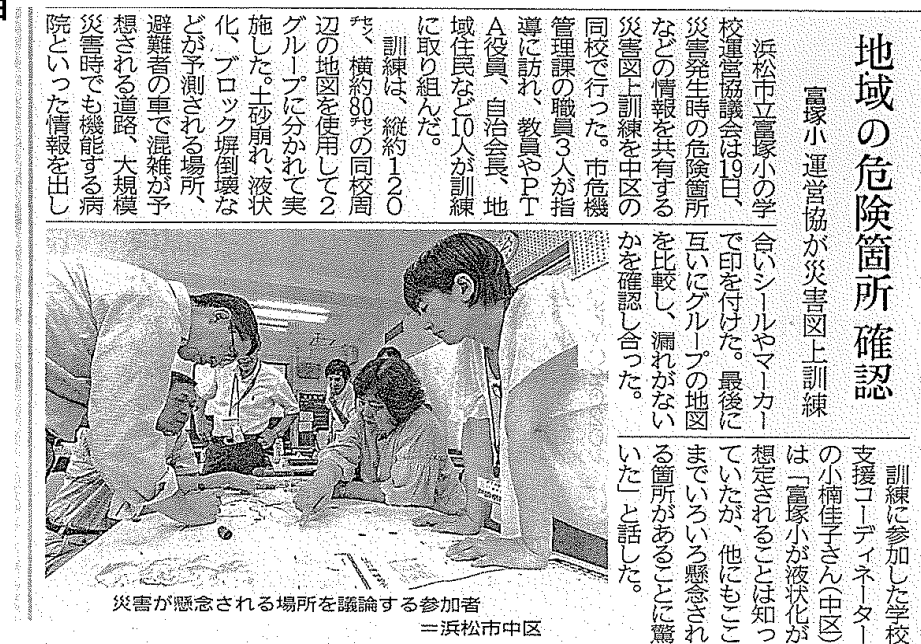
- H30第2回CS協議会(2018.6.19開催)：
通学路における不安箇所等について意見交換
(PTA:県警事故事件発生マップ等の確認と該当事業の実施確認、議論等(7~11月))
- H30第4回CS協議会(2019.1.28開催)：
委員(PTA会長)が問題提起、県警事故事件発生マップの写し等を配付、PTA該当事業の内容等を説明。これをもとに通学路の安全安心確保に向けて議論
※**主な意見**:「各団体が連携し持続可能な形で役割分担を話し合う場は重要」、「見守り隊の幟等の管理が分からず台風時に苦慮」、「この**協議会で安全安心マップを作るべき**」、「今回初めてPTAの各事業のこと等を知った」など

3. 富塚小CS推進モデル校実施の足跡



- H31第1回CS協議会(2019.4.13開催):
前回を踏まえた議論の結果、次回、安全安心マップ(自然災害)を作る旨決定。
後日、会長から各委員に対し、事前の適宜関係者からの情報収集等を依頼
※これを受け、PTAでは全保護者対象に募集。保護者
同士が自発的に話し合い、50件超の意見が集まる

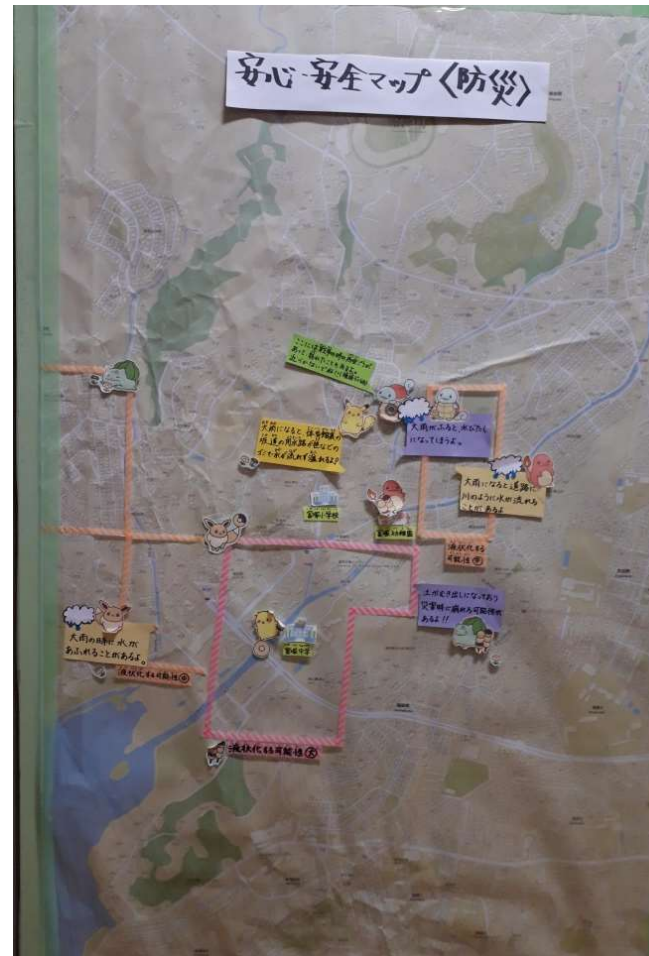
- R1第2回CS協議会(2019.6.19開催):
市の出前講座(DIG※)を活用し、各委員で
ハザードマップ等から地域の危険箇所等を
確認し、意見交換しながら自然災害の安全
安心マップを作製
※災害図上訓練(Disaster Imagination Game)



(静岡新聞(2019.6.20朝刊) 記事)

3. 富塚小CS推進モデル校実施の足跡

- DIGで作成したマップや保護者からの意見等をもとに、PTAが**安全安心マップ**(防災版、防犯版)を作製(右図)
- 校舎1階の昇降口に掲出し、子どもや保護者等に情報提供と啓発
- 見守り隊等のPTA事業も見直し



3. 富塚小CS推進モデル校実施の足跡



【CS協議会の主な取組例②】

H28～“花壇造りプロジェクト”

《経緯》

- ・ 校舎正面のメイン花壇が寂しい状況(右の写真)

《CS協議会での熟議と協働》

- ・ H28第2回CS協議会(2016.10.7開催)：
学校からの依頼を受けて、花壇のあり方等を議論
- ・ H28.10-11月ボランティアで花壇の解体等を実施
(実働5日間)
- ・ 花壇完成後は苗を植え付け



3. 富塚小CS推進モデル校実施の足跡



- ・現在は、生き物園芸委員会(児童)による管理、学年花壇の管理など



(左は令和元年5月の花壇の様子)

3. 富塚小CS推進モデル校実施の足跡

【地域連携による学校支援活動等】

- 学校側の依頼(授業支援の希望内容を年度当初にリストアップ)に基づき、学校支援コーディネーターが地域人材等を発掘・調整等
- R1実績:
 - [授業支援] 21回(引率等補助、講師など。全学年合計)
 - [クラブ活動運営] 16クラブ講師29人 ※全クラブが地域講師で対応
 - [環境整備等] 卒業式や入学式のコサージュ作り、行事の際の託児実施など



3. 富塚小CS推進モデル校実施の足跡



【情報発信等】

- 学校支援の状況などを記載した「コミスク便り」を発行、保護者への配付、地域回覧等により周知
- 富塚小HP「コミュニティ・スクール」ページを設置し、ボランティア活動等の内容を紹介



登録ありがとうございました！

本年度より、浜松市教育委員会より『コミュニティ・スクール推進モデル校』に富塚小・富西小・富中が選ばれました。学校・家庭・地域が1つになり子供の豊かな学びと育ちを創造する為の取り組みを行っていきます。

保護者の皆様よりボランティア登録を募集した所、沢山の皆様より登録を頂きました。有難うございました。

早速、授業参観の折に教室に飾るお花の買い出しを地域ボランティアの方に、活け込みを2人の保護者の方にお願いました。お二人とも快く受けて頂きまして有難うございました。

英語教室（7/26・29）開催

6年生を対照にした『英語教室』を2日間、協働センター講座室にて開催しました。ネイティブスピーカーの保護者のジェシーさんが講師に2つの英語サークルの皆さんがボランティアに入っており子供たちをサポートして貰いました。



ボランティアさんも大張り切り！

名刺交換ビンゴや友達紹介・伝言ゲーム等楽しいプログラムに英語が初めての子供達も楽しむことが出来ました。『また参加したい』『続けて欲しい！』の声を沢山頂きました。この時の模様が翌日の中日新聞に掲載されました！

クラブ活動（7/11）開催



地域や保護者の方々が講師になってくれました！

これまで囲碁将棋クラブだけ地域の方々が講師になって頂きましたが今年度は新たに絵画・工作・レクレーション・パソコン・家庭科・スポーツにも講師として入って頂き、より色々なものに子供達もチャレンジすることが出来そうです。年4回開催されます。



パンナ&チョコも快適に

ウサギ小屋もコンクリートの立派なものになりましたが、『何となく暑そう』の声がありました。保護者の方で動物飼育の専門家がいらしたのでアドバイス頂き、早速暑さしのぎの為に大きなたれが取り付けられました。

ボランティア大募集

気軽に登録ください！

tomisyuu.komisuku@gmail.com

富小地域コーディネーターの小楠佳子です。

これからコミスク便りを発行して行きますので宜しくお願いします。

3. 富塚小CS推進モデル校実施の足跡



【参考：学校支援等以外の地域活動】

(主なもの)

- ・ 富塚協働センターまつりで「コミスク広場」出店(レモネード等の販売や製作等)
- ・ PTA主催の富小わっしょい!!で「富っ子カフェ」出店
- ・ 富塚中学校区健全育成会(土曜講座)との連携



4. CSの本格導入に向けて



【本格導入に向けた課題】

- ① R2～CS協は附属機関で法定の「学校運営協議会」にバージョンアップ＝学校の「相談役」、学校と子供に関する「熟議と協働」に重点化
- ② 教員、PTAなど負担軽減の要請と複雑化する諸課題への対応の両立

【今後のポイント】

- ① 委員に「CS」、学校の課題等に関する事務局(学校)の具体的、明快な説明
- ② 熟議と意見集約等につなげるファシリテーションと事務局のサポート
- ③ 課題解決志向で関係者の有機的連携と学校支援コーディネーターの調整
- ④ 協議内容等の記録・公開と保護者、地域等への分かりやすい情報提供
※富小HP「コミュニティ・スクール」の拡充(「CS協」掲載等→cf砂丘小、萩丘小、三ヶ日西小)

5. 委員名簿 (H28～R1)



区 分	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
会長	鈴木重博(保)	中村久仁茂(地)	中村久仁茂(地)	中村久仁茂(地)
地域住民(自治会)	片山信次	片山信次	高橋邦武	高橋邦武
地域住民(自治会)	金子邦雄	金子邦雄	片山信次	片山信次
地域住民(自治会)	小賀清五郎	橋本紀子	金子邦雄	松井石根
保護者(PTA役員)	藤田耕介	鈴木基文	三木良浩	池谷定康
保護者(PTA役員)	吉原忍	鈴木重博	鈴木基文	三木良浩
保護者(PTA役員)	戸田奈美江	内藤白湖	松崎美佐代	仲村知佐子
保護者(PTA役員)	-	藤田耕介	鈴木重博	-
保護者(子供会校区理事)	-	-	-	和田佳代子
関係機関(協働センター)	徳増宏之	嶋野聡	嶋野聡	嶋野聡
地域住民(主任児童委員)	江副和子	江副和子	江副和子	(小楠佳子)
学校支援コーディネーター	小楠佳子	小楠佳子	小楠佳子	小楠佳子
推進モデル校校長	杉山哲也	杉山哲也	高橋宏典	高橋宏典
推進モデル校教員(教頭)	竹村元清	竹村元清	竹村元清	櫻井敬子
推進モデル校教員(担当)	鈴木睦二	杉山友里	-	-

備考: 会長の氏名の後の「(保)」は保護者を、「(地)」は地域住民を表す